

今年の徳島ニュービジネス支援賞

出口祥啓教授が大賞受賞

新しいビジネスが毎年登場して話題の徳島ビジネスチャレンジメッセで、2018年ニュービジネス支援賞大賞に大学院社会産業理工学研究部の(株)スマート・レーザー・アンド・プラズマシステムが選ばれました。

これは同研究部の出口祥啓(でぐち・よしひろ)教授、神本崇博(かみもと・たかひろ)大学院特任研究員らを中心に今年2月に設立した大賞発ベンチャーで、レーザーによる各種の計測が簡易に高い精度で行えるという点が高く評価された結果です。

これまで、エンジンやボイラーの開発などの際に不可欠となる温度や二酸化炭素の濃度等の計測は、複雑な工程や多くの煩雑な作業が必要でしたが、レーザー活用によって大幅に改善したのが今回のシステムです。

エンジンに複数の波長の通信用レーザーを受発信できる計測装置を組み込み、レーザーの光の変化によって得られた情報から高精度の解析が可能になりました。エンジン内の二次時系列温度計測を達成したのは世界初の快挙という画期的なものです。出口教授によると、「従来の方式

に比べて極めて簡易で廉価に行えるようになり、作業効率も格段に高まった」とのこと。燃焼効率の改善に大きく役立ち、大幅な省エネにもつながるそうです。

現在、自動車メーカーやプラントメーカーなどの支援を得て実証実験を重ねており、連携大学として本学と中国の西安交通大学が加わり、パートナー企業には中国、香港の企業が名を連ねるなど、今後の展開が大いに注目されています。

こうしたレーザーによる温度状態やその分布の解析は、エンジンなどの工業製品だけでなく、空調の温度管理や、菓子を焦げ目なく均一に焼くための熱の分布計測など、今後、幅広い分野での活用が見込まれます。そうした民生用需要は、工業用とは違った裾野の広がりや新たな展開が予想されます。

ちなみに、出口教授は徳島大学赴任前に三菱重工工業に勤務しており、航空宇宙技術研究所の客員研究員として、大気圏に突入する際の摩擦温度の測定実験などに取り組んだ経歴を持つ技術者です。「レーザー技



ニュービジネス支援賞授賞式で三木会長を中心に喜びの受賞者



術はもつと多様な分野に活用出来る」と、二層の技術向上に意欲を燃やします。

研究や中国の大学での講義をこなす多忙な中、気さくに取材に応じてくださり、参考文献を自らプリントして手渡して下さるなど物腰の柔らかさが印象的でした。

小説やテレビドラマで話題の「下町ロケット」ならぬ、徳島大学発ベンチャーが高々と打ちあがることが期待されます。

徳島大学附属図書館へようこそ

徳島大学附属図書館は常三島キャンパスの本館と、蔵本キャンパスの蔵本分館があり、一般開放しています。身分を証明するものをご持参のうえ、入口正面にあるサービスカウンターにお声かけください。蔵書検索やデータベース、視聴覚資料も観ることが可能です。

「徳島大学古本募金」にご協力下さい

皆様を読み終えた本などを、徳島大学の提携会社が集荷・査定を行い、その売り上げが附属図書館の学生用図書等の充実に活かされる仕組みです。CD・DVD・ゲームソフトも歓迎します。詳しくはホームページをご覧ください。



<https://www.furuhon-bokin.jp/tokushima-u/>